

持続可能ではない銅製錬の TC/RC についてのコメント

近年、世界の銅精鉱市場は、公正な市場動向を反映していない可能性のある政策や慣行の影響を受け、製錬能力の急速な拡大によって大きな影響を受けている。これにより、銅のサプライチェーンにおいて、特定の地域に製錬が著しく集中することで、銅精鉱の供給が逼迫し、銅精鉱の製錬加工費（TC/RC）が大幅に低下しており、銅地金の生産コストが回収できない状況が生じている。現在の銅精鉱市場では、スポット取引において TC/RC がマイナスの領域で交渉されるケースも見られる。これは、製錬業者が自らの製錬サービスを提供するために、鉱山側にコストを支払っている状況を示している。

この TC/RC の著しい悪化は、世界各地の製錬事業に、縮小に向けた再評価を促しており、実際に、すでに複数の企業が銅精鉱からの製錬事業の撤退や生産縮小の意向を表明している。

我々は、産業に不可欠な銅を今後将来に渡って安定的に供給する責任を担う銅製錬事業が、資源国の鉱山事業とともに、持続的に発展できない市場環境およびその影響について深い懸念と表明し、製錬費用が銅精鉱事業の持続可能な価格水準に戻ることを期待する。現行の持続的でない銅精鉱の取引は、特定国（国々）への依存をより強め、資源国にとっても、製錬国にとっても望ましくないものである。銅産業における公正で持続可能な市場機能を損なう可能性のある政策や慣行に対処するため、銅精鉱事業が鉱山事業とともに持続的に発展できる取引の在り方を含む銅産業のサプライチェーンの確立に向けて、今後とも、関係国および関係者と連携しながら、この問題に取り組んでいく。

2025 年 10 月 15 日

日本 経済産業省
スペイン王国 産業・観光省
大韓民国 産業通商資源部